**日本科学未来館　実証実験公募プログラム**

**提案書**

**【１】提案者**

|  |  |
| --- | --- |
| 企画名 |  |
| 実施希望期間 | 年　　　月　　　日　　～　　　　　年　　　月　　　日 |
| ふりがな |  |
| 提案者名 |  |
| 提案者所属・役職 |  |
| 所在地 | 〒 |
| 連絡先 | 電話 E-Mail |

他の実施責任者、実施担当者、契約担当者等がいる場合は、以下の表に氏名・所属・役職、担当業務を簡潔に記載してください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 氏名 | 所属・役職 | 担当する業務の内容 |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |

※実施者等を複数記入したい場合については、欄を追加してください**※【２】企画提案概要　および【３】企画提案詳細　については、様式自由（ワード、パワーポイント等）で作成していただいてもかまいません。**

**※各項目について記載しきれない場合など、必要に応じて行を追加してください。**

**【２】企画提案概要**

本企画提案の概要及び未来館活用の狙い・理由について記載してください。

＜概要・キャッチフレーズ＞

本企画提案の概要を100文字程度でわかりやすくまとめてください。

**【３】企画提案詳細**

1. 研究開発、製品・サービス開発のビジョン

提案する研究開発や製品・サービス開発の実証の先に描く、社会課題解決や未来社会のビジョン、ロードマップなどを記載してください。

1. 実証技術および検証項目等

＜実証技術＞

実証実験における利用技術やプロトタイプの概要を明確に記載してください。

＜検証項目＞

技術・ユーザビリティ評価、データ取得、社会受容性・事業化検証など検証項目も具体的に記載してください。

　　＜新規性・独自性＞

技術の新規性や特徴について記載してください。

革新性や競争優位性がある科学技術に関連する提案であれば、加点要素とします。

1. 実施内容と参加者体験

実証実験等の実施にあたり、①参加者人数（原則100名以上）、②使用する装置、機材やサービス、③参加者の体験方法、④参加者の体験価値を向上させる造作やパネル・映像などの演出、⑤運営方法などをご記載してください。

参加者が未来社会を考えさせるための工夫、参加者の満足度を高める工夫（体験における付加価値の提供等）や、実験手法に新規性や特異性などの創意工夫があれば、加点要素とします。

1. 実施場所・図面

実施にあたり希望する未来館スペース、会場図面イメージ、必要な要件などを記載してください。

1. 参加者からのデータ取得

実証において検証し、研究開発に反映するための、参加者から取得する、体験データやアンケートなどの情報と、その取得方法、目標数などに関して記載してください。

1. 参加者とコミュニケーションしたい論点や視点

よりよい未来社会の実現に向けて、参加者とのコミュニケーションの論点や視点を記載してください。コミュニケーション手法などが確定したら、その詳細も記載してください。未来館のサポートが必要の場合もこちらに記載してください。

1. 期待する成果・アウトプット

本実証実験等や参加者のデータ取得を通じて、期待される成果や、ねらいとするアウトプット（次モデルへの反映、社会実装や事業化、論文発表など）を記載してください。

1. スケジュール

実施までの準備、実施スケジュール、その後の予定などを記載してください。

未来館は、2026年10月1日(木)から2027年4月中旬までの約半年間、施設整備工事のため全館休館します。上記休館の期間中には、原則一般来館者に対する実証実験ができない前提で計画を作成してください。

**【４】実施体制**

全体的な実施体制について、下記のことがわかるように記載してください。

・実施にあたっての人員体制

・実施代表者・実施担当者の役割分担の詳細　など

**【５】業績・実績**

提案者がこれまでに関わった研究開発や実証実験等の実績や業績があれば記載してください。

**【６】安全管理ほか**

1. 個人情報、倫理審査、人権の保護および法令等の遵守への対応

実証実験を実施するにあたって、相手方の同意・協力、個人情報の取り扱い、安全保障貿易管理、生命倫理・安全対策等、倫理面や法令等に基づく手続き必要有無、また必要な項目に対しては、倫理審査等、どのような対応措置や手続きを講じるのか記述してください。

1. 安全管理体制・安全対策

実証実験を実施するにあたって、安全・衛生管理については、提案代表者がその責任を負うこととし、参加者の安全対策を提案者自身で行っていただく必要があります。

* 1. 実証実施にあたる安全管理体制
	2. 試作機を用いる場合の他、実証実験エリアで想定される危険やリスク等の有無、
	3. 危険・リスクに対する対策
	4. 保険の付保（賠償責任保険に加入いただき、保険証書（写）等を提出ください）

なお、本実証企画に起因しない一般的に発生することが予測される転倒による怪我、発熱等については、記述の必要はありません。また、未来館内にある救護室をご利用いただけます。

**【７】所要経費見込み**

実証実験を実施するにあたって、費用の概算を記載してください。評価する際の実施妥当性の参考とします。なお、未来館からの補助金がありません。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **費　目** | **主な内訳・使途** | **予定合計金額（円）** |
| 物品費（備品・消耗品費） |  |  |
| 委託・人件費 |  |  |
|  |  |
| その他（運搬費・印刷費・保険料・旅費その他経費） |  |  |
| 合計 |  |  |

**【８】特記事項**

科学コミュニケーター等有識者からのアドバイス等、サポートが必要な場合はこちらに記載してください。また、実施に伴う留意点に関する事項がある際についても、こちらに記載してください。